

5月定例教育委員会 会議録

1、開催日時 令和2年5月26日（火）午後2時00分から午後3時10分

2、開催場所 市役所2階第一会議室

3、出席委員の氏名

教育長 上野 清

職務代理者 白戸 吉男

委員 小俣 洋、三枝 泰子、小俣 和英、遠山 江理

委員以外で出席した職員

教育委員会教育次長、学校教育課長、学校教育課長補佐、生涯学習課長補佐

4、教育長開会宣言

5、会期の決定

6、今回会議録署名委員

小俣 洋委員、三枝 泰子委員が指名される。

7、前回の会議録の承認

職員が4月定例会会議録を朗読し承認される。

8、教育長報告

平成2年4月27日から令和2年5月21日までの教育長活動が報告された。

学校教育課長より、指定校変更3件、区域外就学1件について、資料に基づき説明を行い、申請事由が適正であることから承認・承諾を行うとともに、大月市教育委員会との区域外就学の協議を行った事務処理について報告がなされた。

9、議 事

議第3号 令和2年度6月議会補正予算（案）について

[説明] 教育次長

6月議会上程予定、新型コロナウイルス感染症の拡大による「つる湧水の里ハーフマラソン」補助金の減額についてであります。

昨年度まで「リニアと翔る都留ロードレース大会」として開催していた大会にハーフマラソンの部を追加し、新たに「第1回つる湧水の里ハーフマラソン」を実施するにあたり、1千500万円の補助金で実行委員がレースを運営、開催していく事業の補助金の減額であります。

予算減額の理由は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年度開催の「第1回つる湧水の里ハーフマラソン」が中止となったため、補助金交付に要する予算を減額するものです。中止の決定については、現状等々を情報収集する中で、教育委員会でも方向性を探っていくなか、5月19日に実行委員会の役員会を開いていただき、そこで状況を説明し、あるいは質問を受けながら、意見交換と情報共有をしながら中止を決定しました。その中止の決定に基づき、減額をするものであります。

小俣 洋委員

この補助金は、市の単独費ではないと聞いていますが。

教育次長

市の単独費もありますが、15,000千円のうち7,500千円は臨時交付金であります。

小俣 洋委員

それは返すことになりますか。

教育次長

請求しないかたちと考えています。

他の事業と抱き合わせで申請していますので、処理は後々になりますが、基本的にはもらわない、使わないということになります。

小俣 洋委員

中止した事業が色々出てくると不要なお金が出ることにより、たくさんの事務処理等があって、お金も出たり入ったりして大変なことになりますね。

教育次長

おっしゃるとおりですが、ただ、この臨時交付金につきましては、今年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による理由によって引き続き来年度も対象となる予定と説明を受けています。

以上の発言あり。

上野教育長が意見を求め協議したところ、原案のとおり承認された。

【原案のとおり決定】

10、その他

[説明] 学校教育課長

(1) 学校再開について

[説明] 学校教育課長補佐

(1) 令和2年度学級及び児童生徒数調べについて

(2) 令和3年度教育施策及び予算に関する要望書の提出について

(3) 令和2年度南都留地域教育推進連絡協議会総会及び講演会の中止について

(4) その他

【 了 知 】

11、教育長閉会宣言